



山田 隼ちゃん

門沢橋、山田光彦・由美さんの長男=1歳



加藤 颯ちゃん

上今泉、加藤寿一・弘峰さんの長男=1歳



浦井 美桜ちゃん

社家、浦井清一・美砂さんの長女=1歳



田中 碧人ちゃん

門沢橋、田中秀幸・久美さんの長男=1歳 2カ月



鵜殿 龍太ちゃん

社家、鵜殿信幸・雪子さんの長男=1歳 2カ月



福原 凷己ちゃん

河原口、福原章夫・由利子さんの長男=1歳



深沢 野乃佳ちゃん

大谷、深沢圭・美和子さんの長女=1歳



三廻部 紗弥ちゃん

大谷、三廻部正勝・佳子さんの長女=1歳

まんまる赤ちゃん

蚕糸技術発祥の地

4月15日に中新田で、神奈川県蚕糸試験場跡地にあった「蚕神碑(さんじんひ)」の移設と「神奈川県蚕糸技術発祥の地」記念碑の建立を祝う式典が行われました。



フオイトピックス

ぱくっ！摘みたてイチゴ

中河内地区の「いちご摘み」。新鮮な甘いイチゴをほおぼる家族連れなどにぎわっています。5月27日までの土・日・祝日に行われています。



このコーナーに掲載を希望する方は…電話で広報広聴課(内271)へ。ただし、申し込み時点で1歳未満の赤ちゃんに限り、お早めにごぞ。紙面の都合で掲載できない場合もあります。



▽場所 馬船橋付近(上郷) 上郷在住・大和義見さん撮影 4月1日

みなさんからの作品

海老名の風景 18



▷場所 河畔公園(河原口) ▷撮影日 4月1日 柏ヶ谷在住・小野田留蔵さん撮影



▷場所 海老名小学校グラウンド ▷撮影日 4月1日 国分南在住・今福啓治さん撮影

今月のプロフィール

海老名警察署長

佐藤 孝幸さん (53)



モットーは質実剛健。「だれに対しても誠実でありたい」

待望の海老名警察署が5月1日(火)に開署。警察官、警察職員130人を統括する初代署長には、佐藤孝幸氏(53歳)が就任しました。

◇「市民の視点」を徹底

「いいかげん」が大嫌い。だれに対しても常に誠実でありたい」と話す佐藤署長が掲げたモットーは「質実剛健」。「本来やるべきことをしっかりとやり、市民の視点で対応する姿勢を署員全員に徹底する」と言います。新しい試みである、警察関連の相談に対応する「住民相談係」についても「経過や結果の管理・確認を怠らず、市民サービスに努めたい」と話しています。

◇相模川・丹沢に故郷をおもむ

「相模川と丹沢の景観が、故郷の石狩川とその背後に連なる山脈の眺めと重なるんです」。佐藤署長は、北海道美唄市生まれ。14歳のとき横浜市に移転し、高校を卒業後、神奈川県警察に入庁しました。警察官を志したのは、小学生のころから続いていた剣道と柔道を社会のために役立てたいという思いから。また、警察官としての職務を果たしながら、大学の夜間部に通い法学を修めました。

横浜駅西口の交番勤務からスタートして、機動隊、警備、警務、防犯、警察署の副署長などを歴任。一番の思い出は、警察官になって間もないころ、自分が受けた家出捜索願の少年を、その日のパトロール中に発見し、両親に喜ばれたこと。「そのときの『地域の役に立てた』という充実感が、私の警察官としての『原点』です」。

◇旅でストレス解消

趣味は旅行。歴史に思いをはせて神社・仏閣を巡り、ストレスを解消します。すでに市内の神社もいくつか訪ねていて、海老名氏や相模国分寺のことなどにも興味を持っているそうです。「歴史ある地の初代署長に就けて光栄です。海老名に愛着を感じています」と語る表情はとても穏やかでした。

上今泉の出身ですが、秋葉山へ足を運ぶのは今回が初めて。取材のため数回に渡る踏破?の機会に恵まれましたが、日ごろの運動不足も手伝ってすっかり体が汗だくに。緑の木陰で涼みながら、はるか古代の海老名の姿に思いをはせてしま

編集後記

う私でした。(康)